【講演テーマ】

肥満・代謝疾患における創薬の加速：DIO モデルの活用と包括的フェノタイピング

【開催日時】

2026 年 11 月 25 日（水）16:00-17:00

形式: オンライン（Zoom ウェビナー）

言语：英語（日本語字幕付き）

【講演概要】

食事誘導性肥満（DIO）マウスモデルは、肥満関連の代謝異常の解明や治療薬の有効性評価において、最も広く利用され、かつ信頼性の高い前臨床モデルの一つとなっています。

本ウェビナーでは、代謝疾患治療薬の最新動向を概観するとともに、代謝疾患の研究および治療薬開発を加速させるために設計された、Biocytogen の統合型 DIO プラットフォームとヒト化動物モデルのポートフォリオを紹介します。

【キーポイント】

- DIO マウスモデルの特長とアプリケーション
- 肥満、2 型糖尿病、メタボリックシンドローム、脂質異常症、心血管代謝疾患における前臨床モデル
- トランスレーショナルな代謝疾患研究および薬効評価に向けたヒト化マウスモデル
- 代謝ケージ解析や経時的な体組成分析を含む、統合型代謝フェノタイピング評価系
- 薬効評価および作用序序（MOA）解析への統合型フェノタイピングの応用

【講演者】



Dong Han, Ph.D.
Director of Pharmacology Platform

Han 氏は、英国の University of Hull にてコンピュータサイエンスの学士号を取得後、金沢大学にて医学博士号を取得されました。また、Harvard Medical School の Joslin Diabetes Center および UMass Boston の Center for Personalized Cancer Therapy にてポスドクとして研究していました。

現在、Biocytogen の薬理プラットフォームのディレクターを務めており、*in vivo* および *in vitro* 薬理学、フローサイトメトリーコアなど、学際的なチームを統括されています。同氏のチームは、薬効評価、作用機序（MOA）解析、PK/PD 評価、バイオマーカー解析、トランスレーショナル薬理学に至る統合的な前臨床研究サービスを提供し、多様な疾患領域および創薬モダリティにおける創薬プログラムを強力に支援しています。

【参加形式】

オンライン開催・参加無料

【プライバシーに関するお知らせ】

本ウェビナーにおいて、登録時にご提供いただいた個人情報（氏名、メールアドレスなど）は、イベントの運営および関連情報の配信のみに使用されます。お客様の個人情報は厳重に管理され、第三者と共有したり、その他の目的で使用したりすることはありません。詳細については、当社プライバシーポリシーをご覧ください。